



Hirosaki Action Plan 2013

弘前市アクションプラン2013

—子ども達の笑顔あふれる弘前づくり—

弘前市

平成25年3月

弘前市アクションプラン2013

(平成25年3月27日 市長決定)



弘前市アクションプラン2013



目次

1. 策定趣旨	1
2. 体系	1
3. 計画期間	2
4. 推進方法	2
5. 組織・人事との連動	2
6. 所要額	3
7. 7つの約束	4
8. エボリューション3	28
9. 個別施策工程表〈スマイル33プログラム・チャレンジ67・新規施策〉	31
10. 個別施策工程表〈ダッシュ3〉	147
11. 個別施策工程表〈合併戦略プロジェクト〉	151
12. エボリューション3 構成事業一覧	157
13. 用語説明	171

弘前市アクションプラン2013

① 策定趣旨

(1) 平成22年4月の市長選挙において、葛西憲之市長が『子ども達の笑顔あふれる弘前づくり』に向けて、「7つの約束」と「103の施策」をマニフェストに掲げました。この市長マニフェスト（以下「マニフェスト」という。）を、迅速かつ着実に実行するために、市の計画として位置付けることとし、平成22年10月に『弘前市アクションプラン2010』を策定しました。

(2) このプランは、社会環境の変化や多様な市民のニーズに的確に対応するために、戦略的かつ機動的に運用する実行計画です。毎年度、進行状況の評価・点検を的確に実施し、その結果を踏まえてプランを改訂する、いわば「進化・成長する」プランとすることとしています。平成24年3月には、はじめての改訂版となる『弘前市アクションプラン2012』を策定しており、今回、平成25年度からの取組内容の追加・修正などを行い『弘前市アクションプラン2013』を策定するものです。

(3) プラン3年間の取り組みを踏まえ、今後の超少子高齢化社会において『子ども達の笑顔あふれる弘前づくり』と『将来の弘前の持続的発展』を目指すためには、新たな取り組みが必要です。「子育て」、「健康」、「雪対策」の3つを弘前市の最重要課題として位置付け、長期的展望をもって戦略的に課題解決に取り組むため、プランの約束から“進化（エボリューション）”させる形で『エボリューション3（3つの日本一を目指した長期的取り組み）』を新設します。エボリューション3は、既存事業の再編と新規事業により取り組みの強化を図っていきます。

② 体系

マニフェストの内容を踏まえて、右の構成により、目標や具体的な取組内容を示します。

体系図

7つの約束

進化

エボリューション3
「子育て」「健康」「雪対策」
3つの日本一を目指した長期的取り組み

現状と課題を踏まえた **めざす姿** とその達成状況を示す **指標** を提示します。

- 約束 .1 市民主権システムを実現します。
- 約束 .2-(1) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます。【農業振興】
- 約束 .2-(2) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます。【観光振興】
- 約束 .2-(3) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます。【商工業振興】
- 約束 .3-(1) 魅力あるまちづくりを進めます。【生活環境】
- 約束 .3-(2) 魅力あるまちづくりを進めます。【防災・環境・再生可能エネルギー】
- 約束 .4-(1) 子育てするなら弘前で、を目指します。【子育て】
- 約束 .4-(2) 子育てするなら弘前で、を目指します。【人づくり】
- 約束 .5 命と暮らしを守ります。
- 約束 .6 津軽地域の中核都市として、近隣市町村との連携強化を図ります。
- 約束 .7 市職員のパワーを引き出し、市役所の仕事力を高めます。

指標の達成に向けて **個別施策** を設け、具体的に取り組みます。

● 7つの約束を実現するための個別施策

- スマイル33プログラム —— 重点的に進める33施策
- チャレンジ67 —— 計画期間中にチャレンジする67施策
- 新規施策 —— アクションプラン2012、2013から新たに追加された施策

● ダッシュ3 3つの緊急事業

- 中心市街地活性化のために、ジョッバル再生に協力します。
- 掘越地区全天候型スポレク施設建設の見直しをします。
- 東北新幹線新青森駅開業（全線開通）・弘前城築城400年を絶好の機会ととらえ、早急に実効性のある観光施策を行います。

● 合併戦略プロジェクト 基本構想に掲載されている11の合併戦略プロジェクト

- 一体感のあるまちづくりプロジェクト（8事業）
- 地域の均衡ある発展プロジェクト（3事業）

7つの約束・エボリューション3を実行することで
「子ども達の笑顔あふれる弘前づくり」を実現します。

③ 計画期間

平成22年度から25年度までの4年間とします。

④ 推進方法 (PDCAサイクルによる推進)

このプランは、PDCAサイクルによるマネジメントシステムにより、常に市民と関わりながら進行管理を行っていきます。

P：計画 (Plan)

プランの策定・改訂は、予算編成と連動させながら全庁的な検討を行って、施策や事業の追加・補充、目標の上方修正などを実施します。また、各部の自立的な施策の実行を推進するため、各部長が毎年度の重点事業や目標を市民と市長に約束する「部長実行宣言」を行います。

D：実行 (Do)

プランの実行にあたっては、市民と情報を共有し、協働しながら各種の取り組みを実施します。

C：評価 (Check)

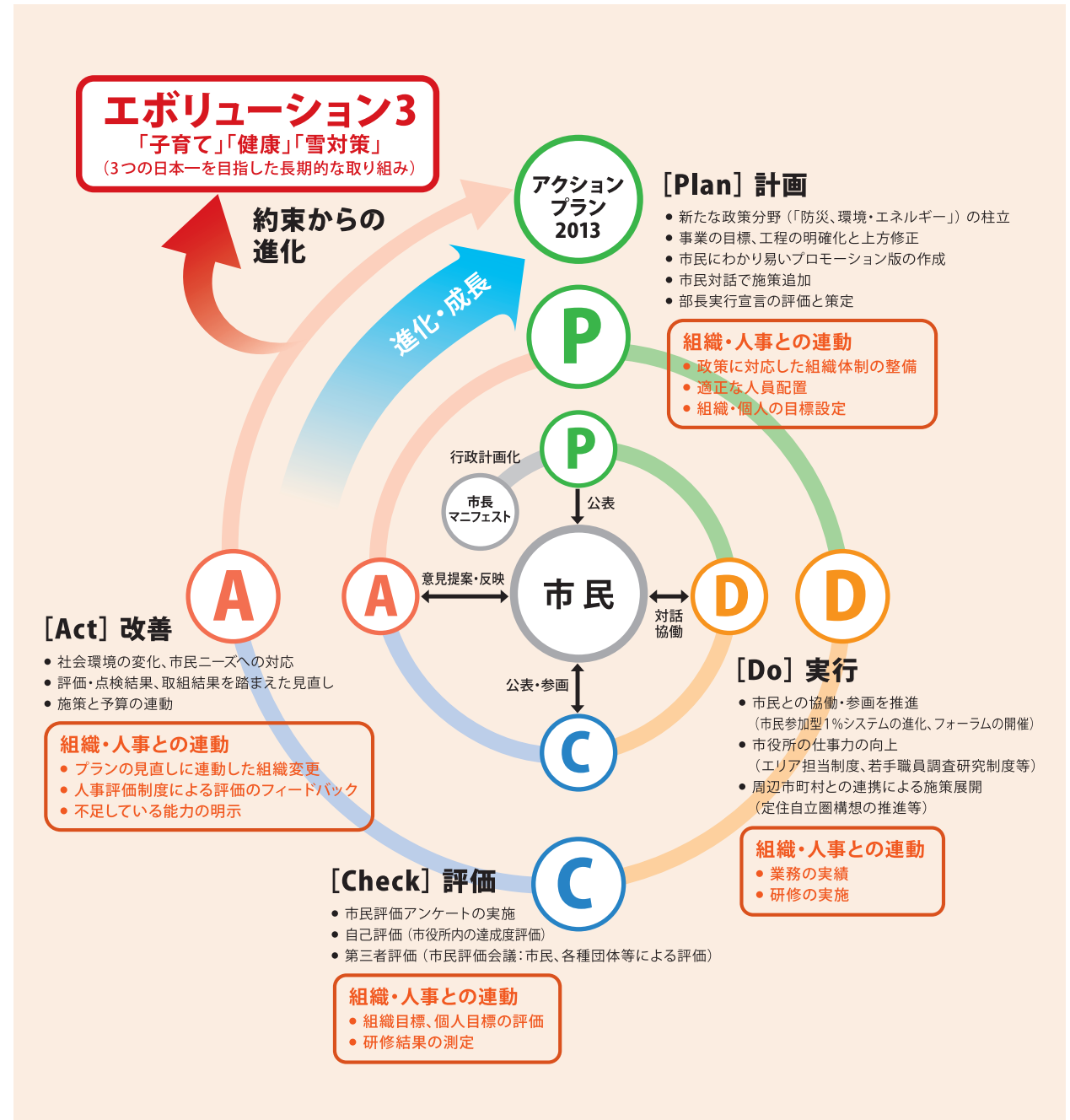
取組結果について、市民評価アンケート、自己評価、市民による第三者評価を実施し、その結果を公表するなど透明性の確保に努めます。

A：改善 (Act)

評価結果や社会環境の変化等を踏まえて、次年度以降の新たな施策の補充・見直しなどを行い、『進化・成長する』プランの策定を目指します。

⑤ 組織・人事との連動

プランの施策を着実に実行し、めざす姿を実現するため、プランのPDCAサイクルに連動した、組織・人事のマネジメントサイクルを構築し、継続的な改善を図っていきます。連動の概要はサイクル図に記載しています。



⑥ 所要額

7つの約束を実現するための個別施策、ダッシュ3（3つの緊急事業）、合併戦略プロジェクト（11の合併戦略プロジェクト）の所要額は右表のとおりです。

所要額総額表

7つの約束 (A)

(単位：百万円)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
決算額 762	決算額 927	当初予算額 1,961	当初予算額 2,148	2013 5,798
2010 概算所要額 906	2010 概算所要額 1,472	2010 概算所要額 1,850	2010 概算所要額 1,628	2010 5,856
増減 ▲144	増減 ▲545	増減 111	増減 520	増減 ▲58

ダッシュ3 (B)

(単位：百万円)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
決算額 5	決算額 20	当初予算額 27	当初予算額 85	2013 137
2010 概算所要額 3	2010 概算所要額 0	2010 概算所要額 0	2010 概算所要額 0	2010 3
増減 2	増減 20	増減 27	増減 85	増減 134

合併戦略プロジェクト (C)

(単位：百万円)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
決算額 1,777	決算額 1,137	当初予算額 1,126	当初予算額 1,658	2013 5,698
2010 概算所要額 1,983	2010 概算所要額 1,486	2010 概算所要額 912	2010 概算所要額 1,576	2010 5,957
増減 ▲206	増減 ▲349	増減 214	増減 82	増減 ▲259

アクションプラン総合計 (A) + (B) + (C)

(単位：百万円)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
決算額 2,544	決算額 2,084	当初予算額 3,114	当初予算額 3,891	2013 11,633
2010 概算所要額 2,892	2010 概算所要額 2,958	2010 概算所要額 2,762	2010 概算所要額 3,204	2010 11,816
増減 ▲348	増減 ▲874	増減 352	増減 687	増減 ▲183